

九州大学情報統括本部

Information Infrastructure Initiative,
Kyushu University

ITだより

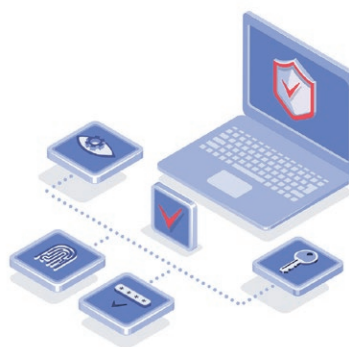
vol. 19 Spring 2021

『撮影：田中 日香里』

目次

- 1 Microsoft 365 で
多要素認証 (MFA) が
利用可能に！
- 2 2021 年度 スーパー
コンピュータシステム
ITO 利用講習のお知らせ
～オンデマンド講習コンテンツ公開
およびオンライン利用相談会～
- 3 「Webex」のご案内
- 4 情報統括本部 馬出分室
の移転について

Microsoft 365 で 多要素認証 (MFA) が 利用可能になります！



詳細は次のページをご覧ください



Microsoft 365 で多要素認証（MFA）が利用可能に！

アカウント不正利用の問題

昨今、パスワード漏えい等によるアカウント不正利用の被害が社会的に問題となっており、本学でもフィッシングメールなどによるアカウント情報漏洩や、その不正利用による迷惑メールの送信といった情報インシデントが発生しています。本学ではMicrosoft 365(旧称 Office 365)でメールやクラウドストレージなどさまざまなサービスが利用可能ですので、そのアカウントが不正利用されると例えば次のような問題が起きます。

● 個人情報・機密情報の漏洩

- ◇ アクセス可能な全てのファイルが読まれる。
- ◇ メールボックスにある全てのメールが読まれる。
- ◇ 連絡先に登録している全ての情報が読まれる。

● 他者へのセキュリティ攻撃への悪用

- ◇ 本学の利用者になりすまされ、迷惑メールや脅威メールの送信元として利用される。
- ◇ クラウドストレージなどがコンピューターウイルスの配布に利用される。



アカウントが不正利用されると、本人だけでなく多くの人に悪影響が及び、場合によってはアカウントを不正利用された人が責任を問われる可能性もあります。

多要素認証（MFA）とは？

近年は攻撃手段も高度化しており、パスワードによる本人確認だけではアカウント不正利用を防ぐことは困難です。そこで、本人確認を強化してアカウント不正利用を防ぐ手段として、「多要素認証（Multi-Factor Authentication、以下 MFA）」があります。MFA では、パスワードに加えて、事前に登録しておいた機器や電話番号の所有者であることを確認することで、それらを利用できない第三者によるアカウントの不正利用を防ぎます。また、指紋などの生体情報を本人確認に利用するものもあります。例えば、本学職員証の裏面に記載されている番号表を用いたマトリックス認証も、MFA の一種です。



MFA にはいくつか業界標準的な仕組みがあり、セキュリティ対策として普及しつつあります。代表的な所では Google、Amazon、Facebook、Apple、Twitter、Instagram など著名なサービスで利用できる所が増えており、既に利用している人もいます。また、大学でもパスワード漏洩による情報インシデントが増加していることから、情報システムに MFA を導入するようとの文部科学省からの通知も出ており、東北大学・東京大学・大阪大学・京都大学をはじめとして学内情報サービスへの導入事例も増えています。

本学 Microsoft 365 への MFA 導入

これを受けて、本学でも Microsoft 365 に MFA を導入します。これにより、メールやクラウドストレージ、オンライン会議など不正利用された際に被害が大きくなる可能性のあるサービスを、より安全に利用できるようになります。本学の全構成員（SSO-KID 所有者）が MFA を利用可能です。当初は下記の MFA 用情報を登録した方から有効化されますが、その後全構成員で登録を必須としたいと考えています。

MFA を利用するには？

MFA を利用するには、まず MFA に利用する追加のセキュリティ情報を利用者自身で登録します。情報が登録されたアカウントへのサインイン時に、追加の本人確認が実施されるようになります。サインイン時に追加の操作が必要となりますが、MFA でアカウントの保護を強化することにより、Microsoft 365 内での利用者検索などの利便性向上も見込まれるので、ご理解のほどよろしくお願ひします。

Microsoft 365 では MFA での本人確認に以下の手段が利用できます。

- モバイル端末用の専用アプリ（Microsoft Authenticator）への通知の確認
- パソコンやモバイル端末用の認証アプリ（Google Authenticator 等）に表示される確認コードの入力
- 携帯電話番号へ送付されるショートメッセージ（SMS）に記載された確認コードの入力
- 固定電話等への音声電話を受けてダイヤルボタン操作での確認



常時携帯しているモバイル端末で専用アプリを利用するのが最も確実ですが、前述の通りパソコンやフィーチャーフォン、固定電話でも利用可能です。iPod Touch やタブレット端末なども利用できます。モバイル端末を自宅に忘れた時や、端末が故障・紛失等した時のために、職場パソコンにもアプリをインストールして登録しておくことを強く推奨します。

MFA 利用方法の詳細については、随時、情報共有基盤事業室のウェブサイト <https://ci.iii.kyushu-u.ac.jp/> でお知らせします。また重要な点については全学通知でもお知らせします。ご確認の上、セキュリティ強化のため MFA を是非ご利用ください。

お問い合わせ先

九州大学 情報統括本部 情報共有基盤事業室（Microsoft 365 担当）

Web : <https://ci.iii.kyushu-u.ac.jp/>



2021 年度 スーパーコンピュータシステム ITO 利用講習のお知らせ ～オンデマンド講習コンテンツ公開 およびオンライン利用相談会～

昨年度まで開催していたスーパーコンピュータシステム ITO の『「超」入門』および『並列プログラミング講習会』について、2021 年度より、いつでも受講していただけるオンデマンドコンテンツとして公開することになりました。

それにともない、従来の対面型の講習会に変わるイベントとして、スーパーコンピュータ利用相談会を、定期的にオンラインにて開催します。



オンデマンド講習コンテンツ公開

各講習の資料と音声付きスライド（日本語）を、情報基盤研究開発センター Web サイトで公開します。

また、それぞれの講習会の実習内容をお試しいたぐため、一週間利用可能な無料アカウントを、ご希望に応じて発行するとともに、講習内容や実習に関するご質問をメールで受け付けます。

（実習用無料アカウントの発行は、原則として、各講習内容（1～3）についてお一人様1件までとさせていただきます。）

講習内容	<ol style="list-style-type: none">1. スーパーコンピュータ「超」入門 スーパーコンピュータの仕組みや基本的な利用法を紹介します。2. OpenMPによる並列プログラミング「超」入門 1台の計算機に搭載された多数の「CPUコア」を使った並列プログラムでよく用いられるOpenMPという並列プログラミングモデルを紹介します。3. MPIによる並列プログラミング「超」入門 主に、複数台の計算機で構成された「クラスタ型」並列計算機向けの並列プログラムでよく用いられる MPIという通信インタフェースを紹介します。
公開開始予定	2021年 5月 中旬
公開URL	https://www.cc.kyushu-u.ac.jp/scp/users/lecture/ondemand

オンライン利用相談会

「ITO でこんなことができる?」、「今、ITO を使っていて、こんなことに困ってるんだけど」といったご相談にお答えするオンライン相談会です。

オンライン会議システムに接続していただきご相談をお聞きし、状況によっては画面共有なども使って、問題の解決を図ります。なお、ご相談はグループ毎に受け付けますので、予め、ご希望の時間帯に応じて事前に接続時間を調整させていただきます。

開催予定日	4/21 (水)、5/20 (木)、6/18 (金)
接続時間帯	1. 9:30 - 10:30 2. 11:00 - 12:00 3. 13:30 - 14:30 4. 15:00 - 16:00 5. 16:30 - 17:30

相談をご希望の方は、以下の内容を request@iii.kyushu-u.ac.jp にお送りください。

<ul style="list-style-type: none">希望する相談日と時間帯 第1希望： 月 日 時間帯 1 or 2 or 3 or 4 or 5 第2希望： 月 日 時間帯 1 or 2 or 3 or 4 or 5 第3希望： 月 日 時間帯 1 or 2 or 3 or 4 or 5主な相談内容既に ITO のアカウントをお持ちの場合、アカウント名



お問い合わせ先

九州大学 情報統括本部 HPC 事業室

Mail : request@iii.kyushu-u.ac.jp

「Webex」のご案内

- Web ベースの会議システムです。PC（あるいはタブレット等）で接続し、カメラ映像・マイクの音声・PCの資料映像などを複数名の間で送受信することで、遠隔地間でオンライン会議を行なうことが可能です。
- 授業のほか、会議、大規模なイベントなど様々な用途にご利用いただけます。
- 「ブレイクアウトセッション」「仮想背景」等便利な機能を備えています。
- Moodle 上のコース「オンライン授業講習会」の中で学内向けのマニュアルを公開していますので、関心のある方はご御覧ください。
- 利用申請は部局単位でとりまとめていただきますようお願いいたします。部局からの申請方法は昨年9月に各部局に宛てて案内済みです。
- 2021年9月まで運用の予定です。 ※その後については検討中です。

お問い合わせ先

九州大学 情報統括本部 教育基盤事業室（Webex 担当）

Mail : vc-ex@ecs.kyushu-u.ac.jp

情報統括本部 馬出分室の移転について

馬出キャンパスの馬出分室が生体防御医学研究所 4 号館 2 階の仮設医学図書館に 2021 年 5 月後半に移転いたします。詳細は別途ホームページにてお知らせいたします。

九州大学 情報統括本部 馬出分室（馬出地区）

Tel : 内線（馬出 917220） ※内線のみ（電話番号の変更はありません）

受付時間：平日 10:00～12:00 / 13:00～17:00

場所：生体防御医学研究所 4 号館 2 階 仮設医学図書館



表紙写真『柳川雛祭り さげもんめぐり』

さげもんとは、縁起の良い鶴やウサギ、ひよこ、這い人形などの布細工と鮮やかな糸で巻き上げた「柳川まり」とを組み合わせた縁起ものです。